

△ 注意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などでけがをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなど電動工具の使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 幼児や子供が丸い穴に頭を入れないように充分注意してください。けがや事故の原因となり非常に危険です。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。
- 高温多湿な場所での使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんや畳などやわらかい床では荷重で沈んだり跡がつくことがあるため、敷物や当て板を敷いてください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上に本製品を設置して、長時間置いたり、紫外線や高温にさらすと、色移りで表面が変色することがあります。
- 壁などとの接触を避け、少し離して（約10cm程度）使用してください。密着していると色移りして変色したり壁材が浮いてはがれたりする場合があります。
- ものをのせる時は、荷重が一点に集中しないように均等にのせてください。また、耐荷重を超えるものをのせないでください。
- 加熱したなべ・湯沸かし・熱湯の入ったコップなどを直接置かないでください。
- AV機器・パソコン類などの家電製品を設置する時は、それらの取扱説明書に従い、通気のため周囲に十分な隙間を確保してください。故障や火災の原因となります。
- 湿ったものや濡れたものを置いた後は、水分を放置せずすぐに拭取ってください。
- 本体にのぼったり、よりかかったり・座ったり・踏み台としての使用はお止めください。また、本体に手をついたり、つかまって立ち上がりたりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- 本体を移動する時は、引きずらないでください。床面をキズつける原因になります。
- 本体を移動する時は、置いてあるものを全ておろしてからしっかり持って移動してください。
- 開梱時に、においが気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところにしばらく置いてから使用してください。
- ペットに噛み癖がある場合は充分注意してください。破損した部品や断片を飲み込んだ場合は、ただちに獣医に相談してください。
- ペットの予期せぬ行動から発生したけが・事故・破損などに対する補償等は致しかねます。
- 本製品の特性上、使い始めににおいがする場合があります。時間の経過とともに軽減しますが、気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音などの異常が生じた場合はただちに使用をお止めください。

お手入れの方法

- 定期的に各部がゆるんでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

 **電動ドライバーなど、電動工具の使用はお止めください。**
部品の変形や破損の原因になります。組立てる時やねじの締め直しをする時は、必ず手動の工具を使用してください。

本製品は、ねじを用いて連結している商品です。使用を続けてゆく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用していると、連結部がおれたりはずれたりする原因になります。安全に使用していただくために、定期的な締め直しをお願いします。

株式会社ドウシシャ

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
 ※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ 検索

- ◎品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
- ◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
- ◎天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

Lot No,

穴あきオープンシェルフ

取扱説明書

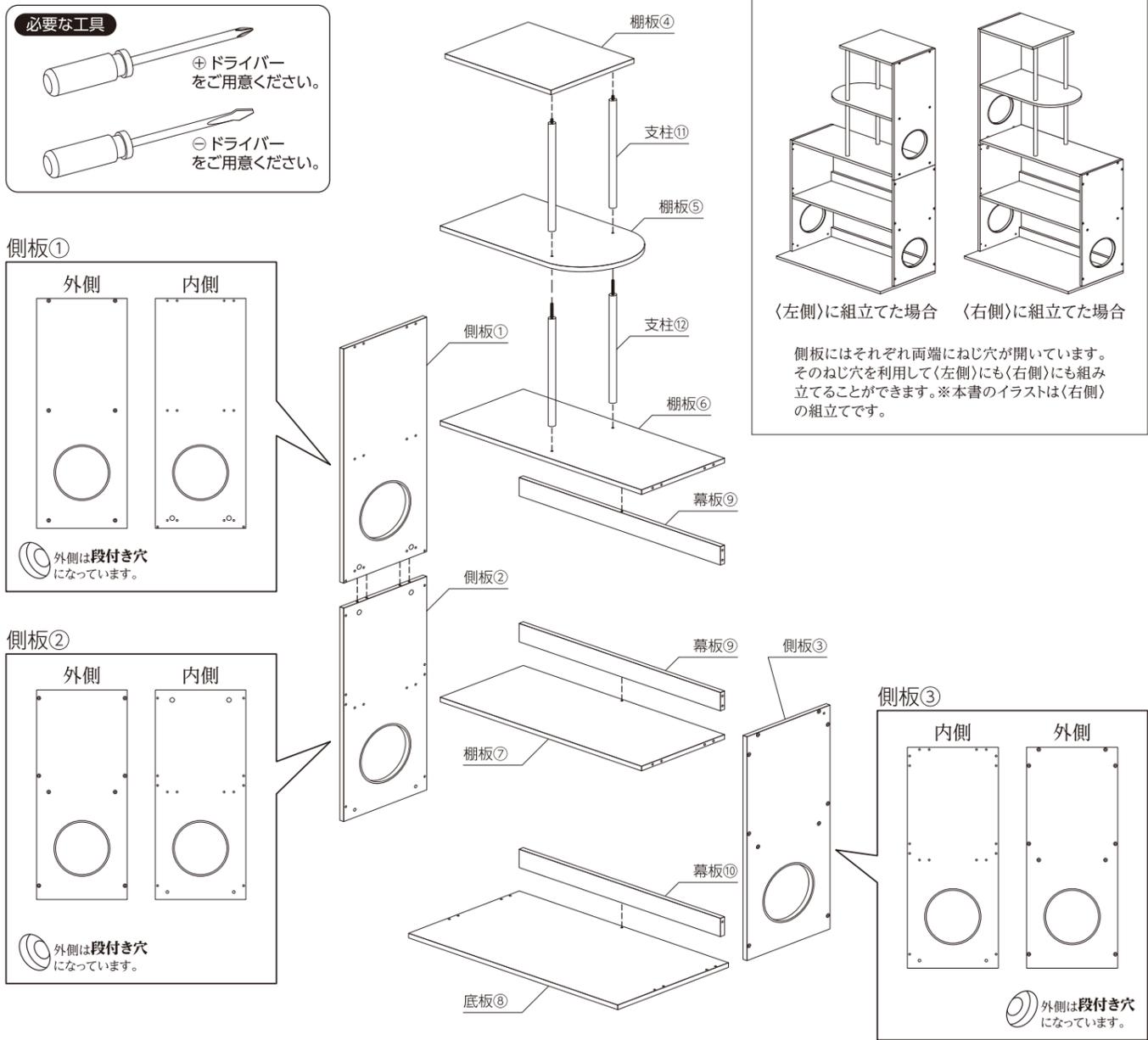
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品番	組立てサイズ(cm)			耐荷重(kg)*	
	幅	奥行	高さ	棚板・底板	全体
ANIS	(約)80	(約)40	(約)147.5	10	50

*耐荷重は、均等荷重をかけた場合の測定値であり、保証する値ではありません。

内容明細

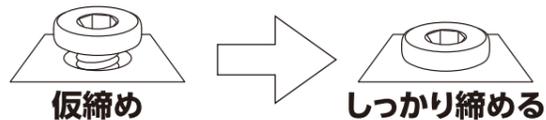
内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。



部品名	連結ナット	ねじ(長)	ねじ(短)	両頭連結シャフト	連結シャフト	カムロック	木ダボ(長)	木ダボ(短)	六角レンチ	目隠しシール
部品図										
数量	22+(予備1)	22+(予備1)	2	2	3	7	2	20+(予備1)	1	49+(予備5)

組立のポイント

最初に**全てのねじを仮締め**してから
最後に**全てのねじをしっかりと締める**。

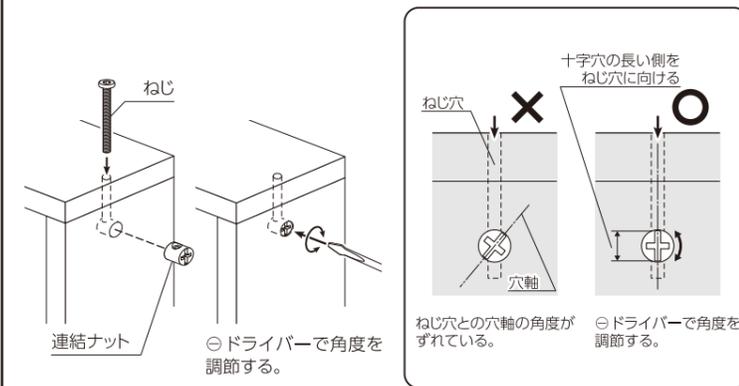


ねじを7~8割ぐらい仮締める。
ねじをしっかりと締める。

ねじは、最初からきつく締めず、仮締めの状態で組み立てを進めてください。
最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わず、組み立てが困難になる場合があります。また、全体がゆがむ原因となりますので、最後に全てのねじをしっかりと締めてください。

連結ナットの調節方法

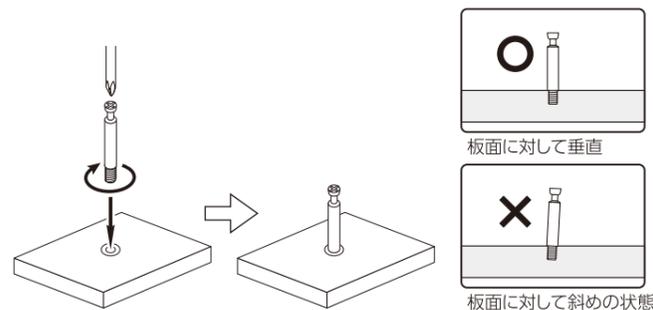
連結ナットの下穴に連結ナットを挿し込みます。穴軸がずれてねじが入らない場合は角度の調節をしてください。



連結シャフトとカムロックの取付け方

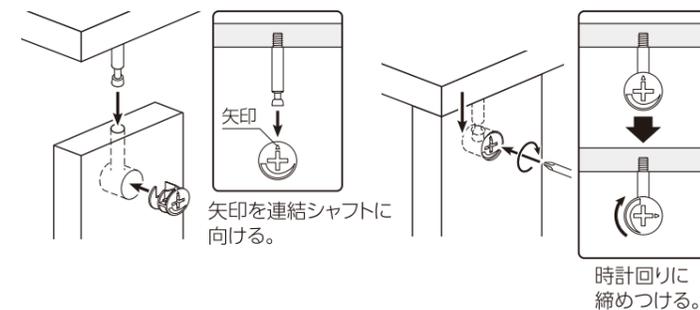
■ 連結シャフトの取付け方

連結シャフトは⊕ドライバーで垂直に根元まで取付けてください。斜めになった状態ではカムロックの取付けが出来なくなります。



■ カムロックの取付け方

①カムロックの矢印を連結シャフトに向けてはめ込みます。
②⊕ドライバーで時計まわりに固くなるまで締めつけます。

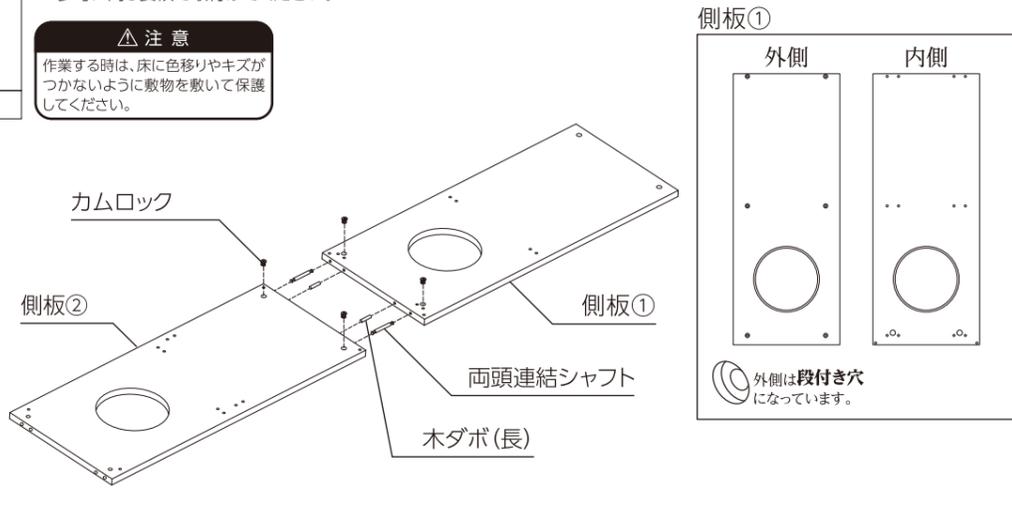


1 側板①と側板②を連結する

両頭連結シャフト	カムロック	木ダボ(長)
2	4	2

図の部品を使ってしっかりと取付けます。
※両頭連結シャフトは「連結シャフトとカムロックの取付け方」を参考に同じ要領で取付けてください。

△注意
作業する時は、床に色移りやキズがつかないように敷物を敷いて保護してください。

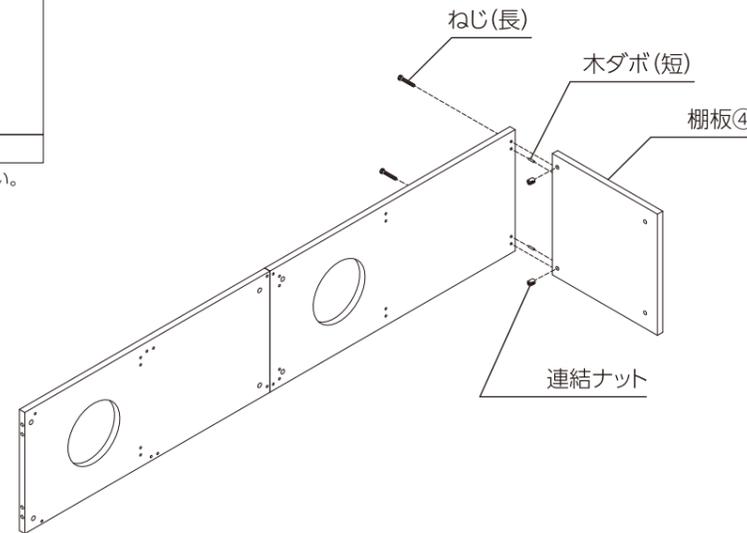


2 棚板④を側板①に取付ける

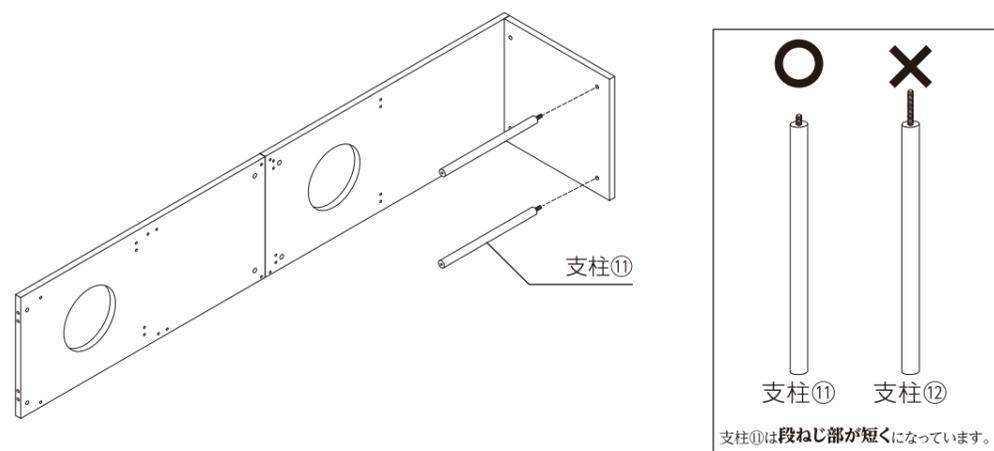
連結ナット	ねじ(長)	木ダボ(短)
2	2	2

図の部品を使って仮締めします。

※「連結ナットの調整方法」を参照してください。



3 支柱⑪を棚板④に取付ける

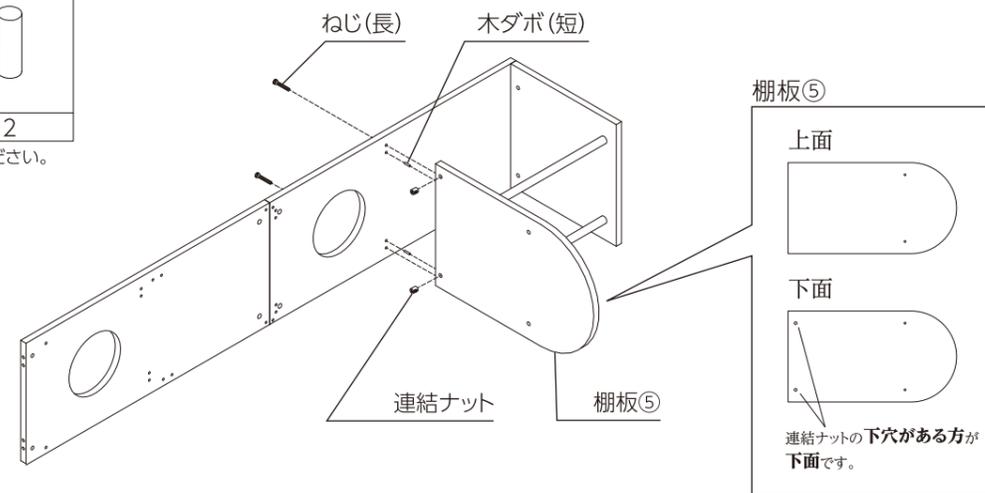


4 棚板⑤を側板①に取付ける

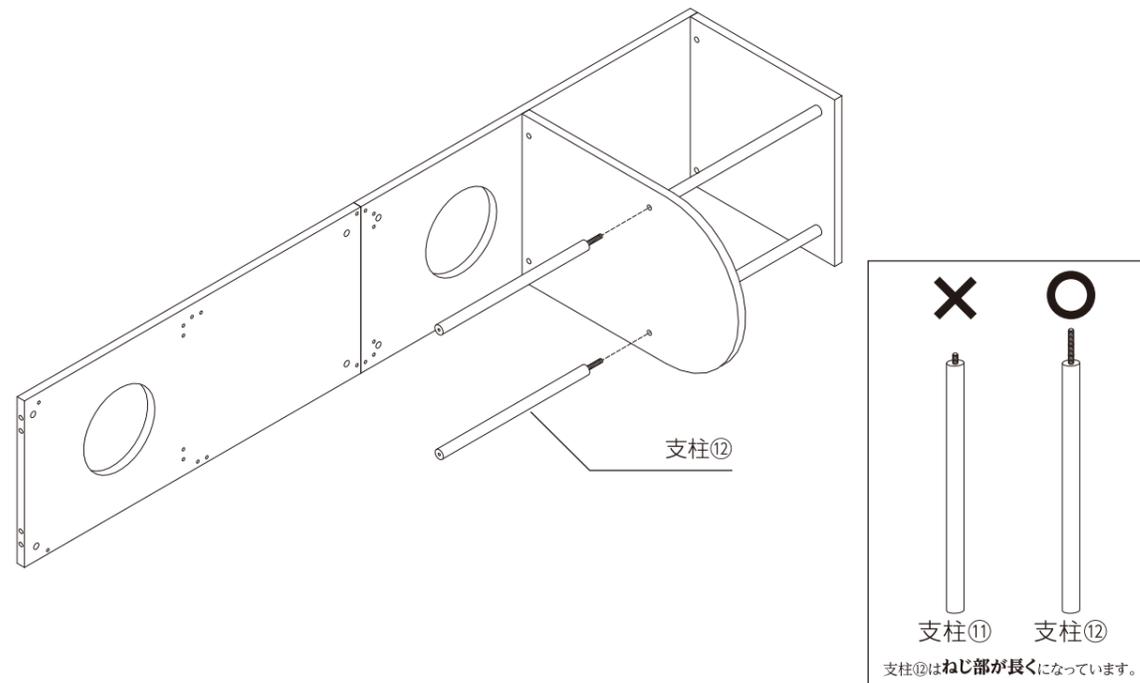
連結ナット	ねじ(長)	木ダボ(短)
2	2	2

図の部品を使って仮締めします。

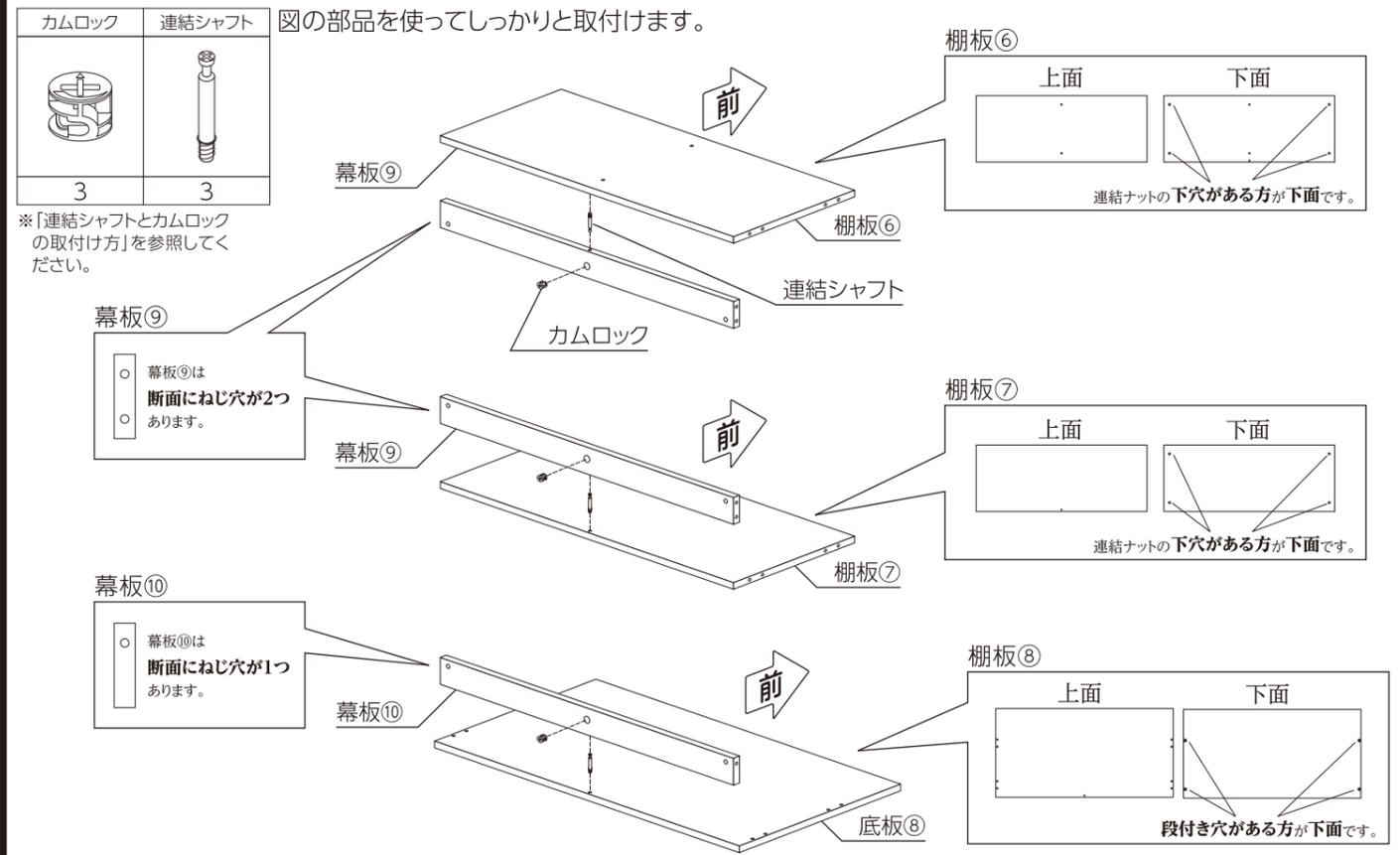
※「連結ナットの調整方法」を参照してください。



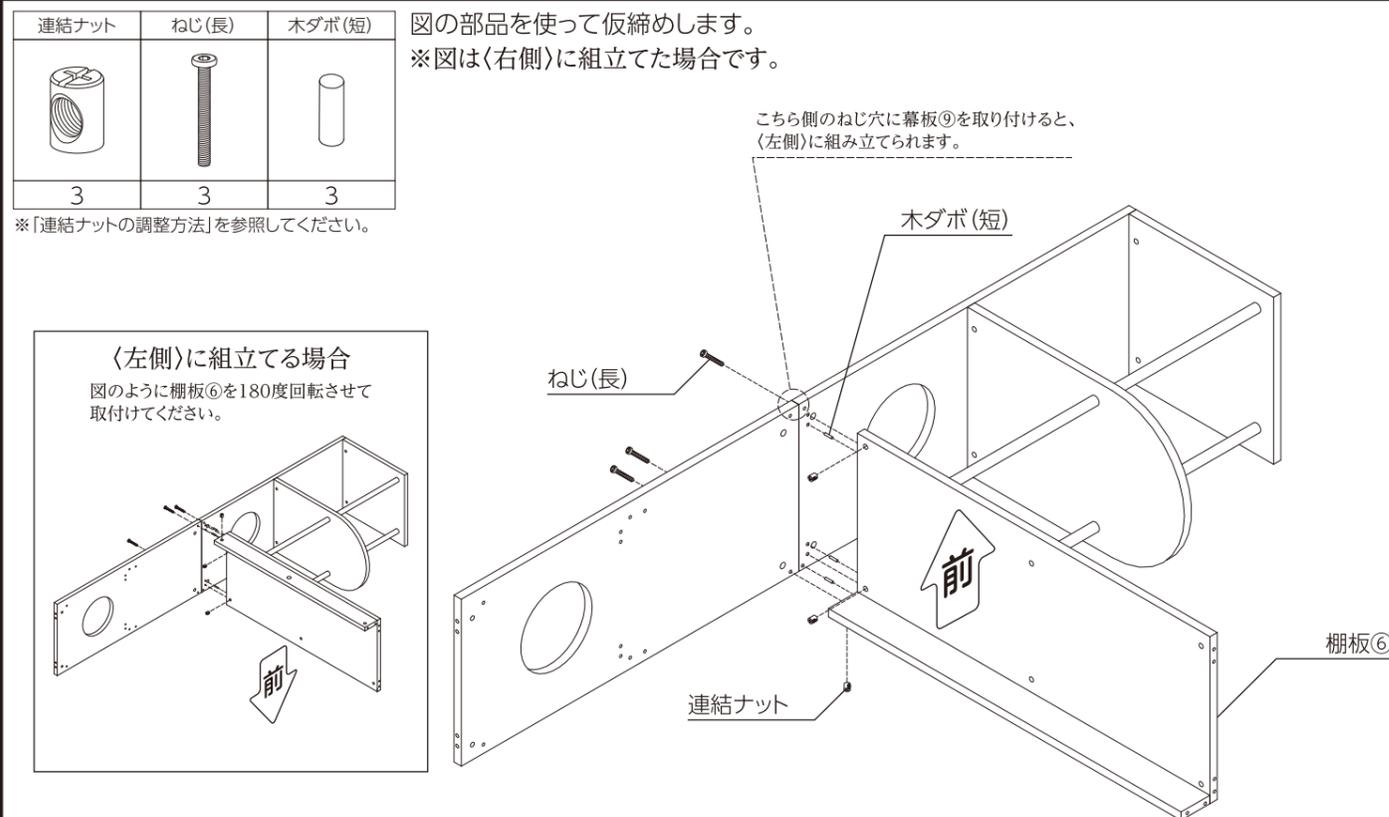
5 支柱⑫を棚板⑤に取付ける



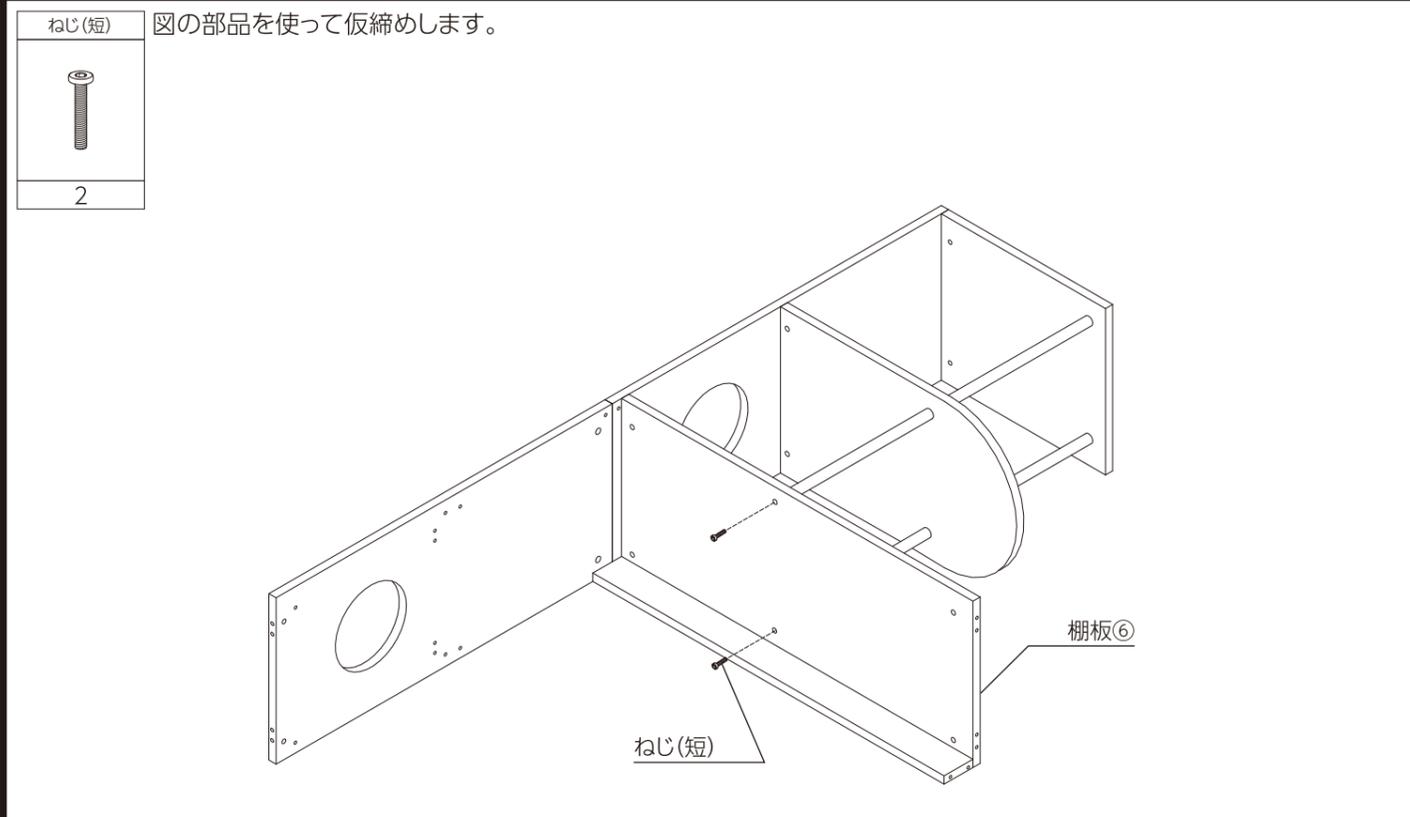
6 棚板⑥と棚板⑦に幕板⑨を取付ける 底板⑧に幕板⑩を取付ける



7 棚板⑥を側板に取付ける



8 支柱⑫を棚板⑥に固定する

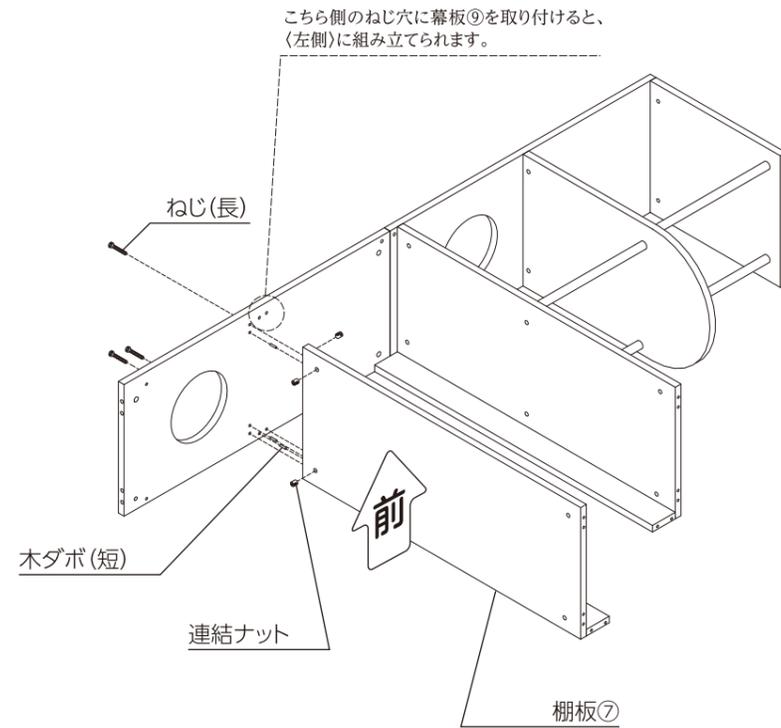
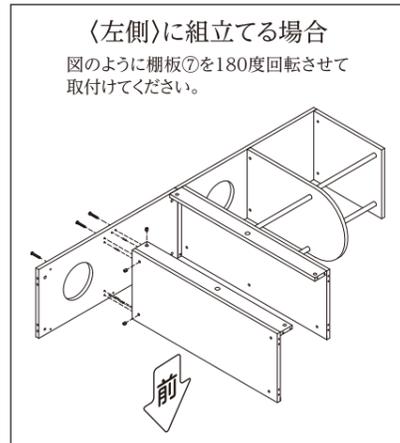


9 棚板⑦を側板に取付ける

連結ナット	ねじ(長)	木ダボ(短)
		
3	3	3

図の部品を使って仮締めします。
※図は〈右側〉に組立てた場合です。

※「連結ナットの調整方法」を参照してください。

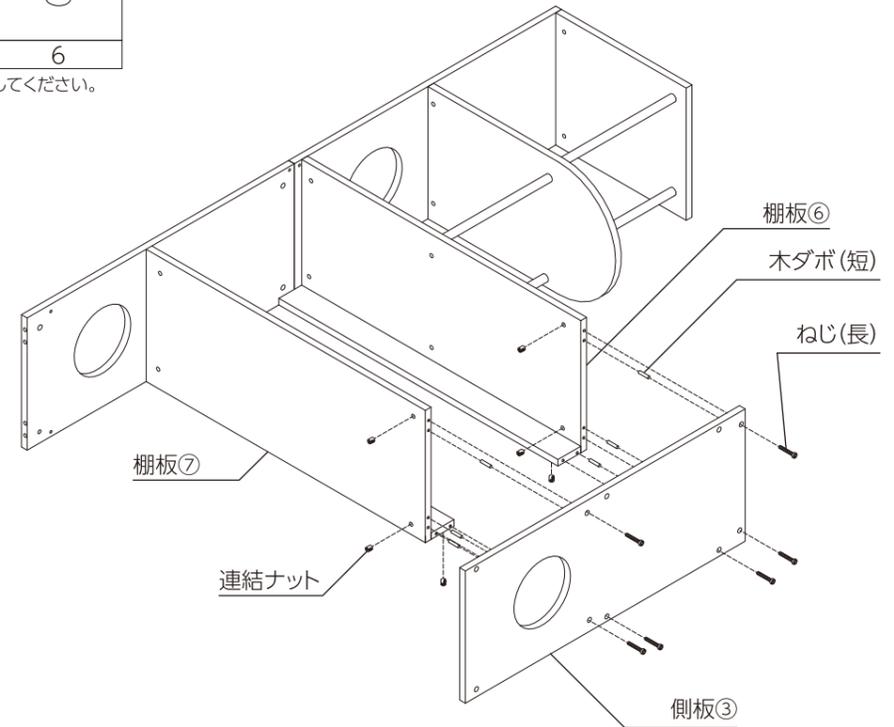


10 側板③を棚板⑥と棚板⑦に取付ける

連結ナット	ねじ(長)	木ダボ(短)
		
6	6	6

図の部品を使って仮締めします。

※「連結ナットの調整方法」を参照してください。

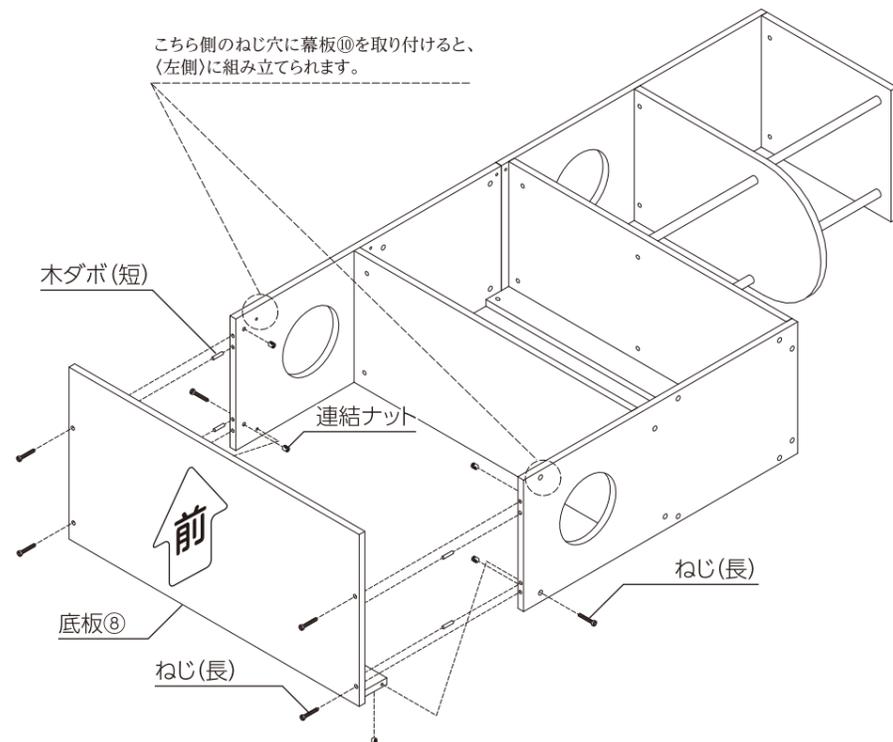


11 底板⑧を取付ける

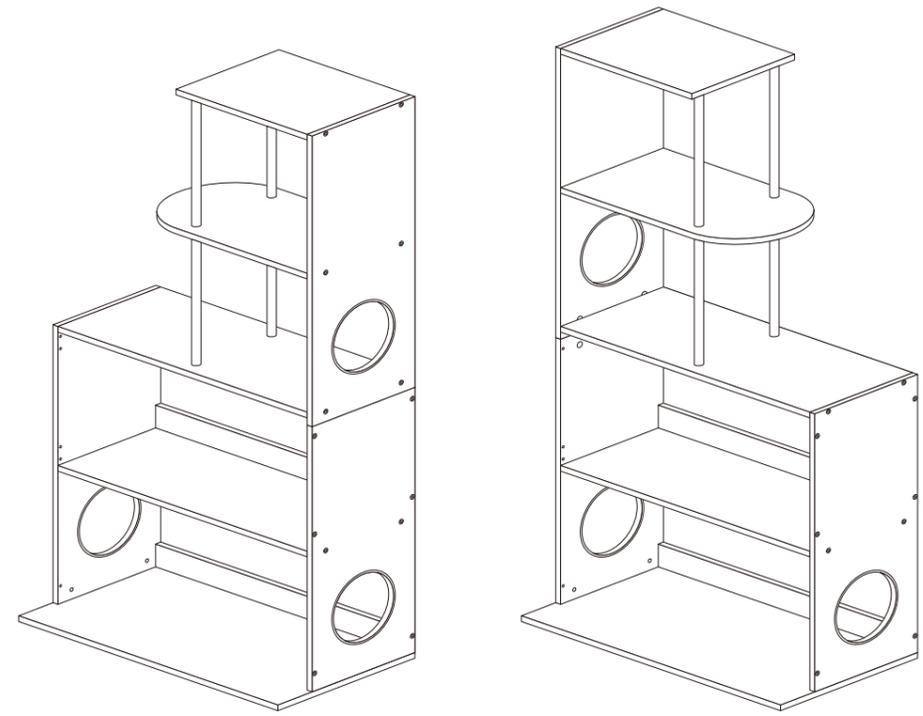
連結ナット	ねじ(長)	木ダボ(短)
		
6	6	4

図の部品を使って仮締めします。
最後に仮締めした全てのねじを
しっかり締めます。
※図は〈右側〉に組立てた場合です。

※「連結ナットの調整方法」を参照してください。



12 ねじ穴に目隠しシールを貼り付けて、完成です。



〈左側〉に組立てた場合

〈右側〉に組立てた場合